

テーマ「グローバル人材育成のための、地域・保護者との連携による“グローバル（グローバル＋ローカル）”な取組」

学校名 北海道上ノ国高等学校
校長名 片桐 清実
担当者 服部 義道
野澤 みどり
鷲尾 啓允

1 活動の趣旨

異なる言語、文化、価値を超えて持続可能な社会の実現に向けて、グローバルな視野を持って、ローカルで主体的に活動する人材の育成を目指すと共に世界の諸問題に着眼し、主体的に課題を発見し、解決の実践をするため、語学力、教養や人間性を高めようとする人材の育成を目指す。

2 活動計画

(1) 地域とESD委員会の連携

上ノ国町の経済的支援の下、海外研修を円滑に実施するために委員会が密接に町と連携した。

(2) KEEP(Kamiko English Education Project)の活動推進

英語による活動をとおして、より幅広い教養と専門性を高める課外活動を推進した。

3 活動事例

(1) 異文化理解をテーマとした授業（英語科・課外活動）

ア ALTによる異文化プレゼンテーション

イ 北海道教育委員会指定事業「U-18 未来フォーラム」におけるタイ国 Yupparaj Wittayalai School とのスカイプ交流

(2) 国際理解授業（英語科）

ア 「世界一大きな授業」「世界がもし100人の村だったら」

(3) 国際貢献活動（課題活動）

ア 国際募金活動

イ Lemonadestand Japan による小児がん、AYA世代のがん 啓発・研究推進プロジェクトへの参加

(4) 海外研修（上ノ国町の経済的支援による毎年5名の英語圏への生徒派遣）

ア ニューゼaland研修

イ 町内の小中学生を招待しての研修報告会

4 成果と課題

(1) 成果

ア 国際理解活動や国際貢献活動の継続による生徒が主体的に活動する力の向上

イ 海外研修や研修報告会などを通しての生徒の語学力向上

(2) 課題

ア 国内外で同様の活動を実施している他校との情報交換や連携

イ グローバル人材育成のための教職員の指導力向上

【参考資料1】「世界一大きな授業」



教育協力 NGO ネットワーク (JNNE) 主催のこの授業は、世界の教育が抱える現状に目を向け、教育の大切さを考えることが目標です。

【参考資料2】「タイとのスカイプ交流」



生徒たちは自己紹介だけではなく、上ノ国町の紹介もしっかりと英語で伝え、同年代のタイの生徒とすぐに親しくなり、異文化コミュニケーションが生まれました。

【参考資料3】「レモネードスタンド」



本校の学校祭で KEEP が実施したレモネードスタンドです。皆様から寄せられた収益は全額 Cancer Net Japan に寄付しました。

【参考資料4】「海外研修報告会」



海外研修参加生徒は旅行前に各自で設定した研修テーマに沿って、英語と日本語で発表を行いました。